

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

お盆を迎えて

大代南 星 繁子

広い宇宙から見たら人間の一生なんてほんの一瞬なのでしょうが、人生を全うしようとする私達人間にとっては、とても長い大変な年月です。

その中でどう生きるかは人それぞれですが、私のように終点が見える時期になると大志を抱いてもどうにもなりません、ただ一日一日を大切に出来る範囲を誠実に生き、惚けずにある日突然旅立つそれが今の目標です。

それ故健康も考え医療行為もし、若い世代の足を引っ張らないようにと努力もしています。そんな中で今回コミュニティ推進協議会の会長を長年お勤めになられた跡部（前）会長様が後退任された事本当にご苦労様でした。

思えば初代会長の、小野一六先生が当時県で推進していた新生活運動にのっとり地域の和と生活改善を目的に立ち上げた事と記憶しております。

ゼロからの出発なので予算獲得・事業の企画等小野先生をはじめリーダーの皆さんの並々ならぬご苦労があったと思います。それを長年継承された跡部（前）会長様が居り、支えた皆さんと歴代の公民館の館長さんの御協力があつて現在があるのだと思います。

小野先生はじめ私達世代も住み良い大代を念頭に置いて頑張ったあかしと誇りに思っております。

あいさつは心のふれあい

出会った人と

あいさつしまししょう

当時活躍された小野先生、大代地区婦人会長の東海林芳子さん残念ながら他界されましたがそのご苦労に報いる為にもコミュニティ協議会の繁栄を陰ながら支えて行きたいと思つて居ります。お盆の月でもありましたので御両人の御冥福をお祈り致します。

シベリヤの想い

「俘虜郵便」

大代南 後藤 清一

久しぶりの返信の内容は悲喜こもごもの思いを人々にもたらした。だが何ヶ月経つても返事のこない者も多かった。私も・同じ部屋の北村も何時になつても届かず、互いに言葉にださなかつたが不安で仕方なかつた。

俘虜郵便は厳しい検問をうける事は覚悟している。だが問題になる様な内容は注意深くさけてきただけに、返事がないのは家族に良からぬ事が起きたからではないかと云う不安がつきまとう。便りは月一回もらへたので皆で諦めずにかき続けた。俺も返事のないあせりを担いながら何回目かの手紙を書いた。

今回は婚家先の姉の処に出してみようか！ 此処でお世話になつた先輩森井さんの事を書いておかなければならない。

ある年の十月の初め三年ぶりにシベリヤから届いた夫からの無事を知らせて便りに飛びあがって喜んだ。消印は

八月五日となつており、俘虜郵便と赤いスタンプが目立つ往復はがきである。住所はどこなのか、どんな所なのか全然想像もできなかった。文面は全てカタカナで書かれているのも奇妙であつたが字はまぎれもない夫のものである。一気に読み終るとはがきを握りしめ居間の畳に泣き崩れた。元気でいるとの報せ今シベリヤの病院で医者として努めている。

心配するな。あと少しで日本に帰れるだろう。呉々も家族達者でお祈りしている。いかにも夫らしい便りだつた。

医者をしているのなら待遇も悪くないと思つた。

その年秋も次第に深まつた。九月も過ぎた頃突然先生から呼ばれる。なんだろう・消灯も間近だと云うのに遠慮しながら訪ねた。掛け給へ、ところで君出身はどこなんだ。多分東北ではないか僕の直感だがね。宮城の仙台の近くです。そうか僕は新潟だが学校は東北大で片平町に住み、そこで知り合い結婚柏崎市で開業、昭和十九年応召したのだ、辛い生活だが体を大事に元気で帰りなさいと親身な励ましを頂き、腹が空くだろうと大切れの白パンを振舞われた、こんな素敵な食事何年ぶりかのご対面だ心配すんな、みんな喰え僕の役得の収入だから遠慮すんな。遠慮なんかするもんか。実は僕の専

門は産婦人科なんで病院の女医さん、看護婦などの出産・診察と官舎に出向き、その時の頂きものだ。本当に生きてる幸せを味わつた。

君、家からの便りわ？。ないの心配です。そうか、だがあればあつたで心苦しいものだ。これを見てくれ。それは細くきれいに書き綴つた奥さんからのものでした。お変わりない事を信じます。おかえりはまだ先の事ですか。こんな悲報と迷つたのですが、あれは終戦間近の未明米軍の大空爆で病院住まいも焼失その上、下の子も失つてしまいました。

私の不注意で、只々申し訳なくお許しを乞うのみです。こんな不幸を背負い厳しい戦後をどう生きたらいいのか希望のない、明日のめない生活に疲れました。早く帰つてきてお父さん！

短歌

大代南 本郷 貞子

汝が家の枇杷目印しと来し兄も此の春逝けり枇杷の熟るるも

大代西 小倉 紀美子

装羅の花いまだ咲くがに花形を保ちて落ちぬ梅雨続く庭

大代西 佐藤 あさよ

ふるさとは海風やさし後より亡母そっくりと肩たたかれし

ご祝儀 お見舞いは 三千元を限度にし お返し物はしないようにお互い気を配りましょう

お知らせ

大代地区婦人防火クラブ

会長 後藤 重子

宮城継続地震は今だに余震が続いて
おります。

防火クラブと致しまして、いざとい
う時の為に皆様が少しでも落ち着いて
行動出来る手助けになるのではと災害
体験を計画いたしました。マグマ車
の予約が多数あり計画致しました日時
に実施致すことができませんでした。

！災害は忘れたところにやってくる！
そなえあればうれいなし時期は少々遅
くなりますが、子供達や多くの方々に
体験頂ける様にと次年度の春休みに計
画致しました。又本年度は、九月に消
火液の交換予定であります。災害体
験の時期に合わせて実施したいと思
います。

液交換をお待ちの方ももう少しお待ち
下さい。
災害体験の実施日は平成十六年三月
二十八日(日)に実施致します。時期
が参りましたなら改めてお知らせ致し
ます。
欠員となつておりました大代西の役
員の方を紹介致します。
小弁野 愛子(三六二) 二八二一で
す宜しくお願い致します。
又ご不明な事、聞きたい事がござい
ましたら各地区の代表の方にお問い合わせ
頂ければと思います。

大代南 平山(三六五) 一四二一
大代東 鈴木(三六四) 四八八一
大代中 本郷(三六二) 〇七三九
大代北 小幡(三六五) 七八二四
大代西 佐藤(三六五) 〇〇四八
宜しくお願い致します。

大代東 本郷 新治
求めよさらば与えられん、ところが
必ずしも望みどおりにはいかないのが
この世の中です。もつともこの頃の若
い人に限ったことではなく、求めるこ
とばかりで行うべきことをしないとい
う不名誉も多いようですが、江戸後期
の篤農家、二宮尊徳が金次郎と称して
いた貧乏時代に自分の家にたつた一丁
しかない、鎌がこわれてしまったので
隣家に行って貸してくるよう頼ん
だところ「あいにく家でもいま畑を耕
して種をまくところだから貸せないね」
ということでした。

求めるまえに

同じ百姓なら作業が打ち合うのも当
然で、鎌が借りなければ金次郎は家
にいてもすることがないので、その日は
ずっと隣家の種まきを手伝うことにし
た。隣家の主人は非常に喜んで、それ
からは必要なものはなんでも貸して
くれるようになりました。尊徳はこのと
きの経験に深い感銘を受け年老いてか
らも若い者に好んでこの話をしました。
小遣い銭がほしいからください。そ
のかわり仕事します。腹が減ってるか

ら飯をごちそうして下さい。そしたら
働きます。これではダメだ。まずこち
らが先に仕事をするなり手伝うなりし
て誠意を示すことだ。その気持ちでい
れば必ず求めていたものは手にできる
にちがいない。とにかく先のものを要
求しがちな傾向の強い現代に傾聴すべ
き教訓です。

文芸短評

大代西 藤田 遊子

『夏草や兵どもが夢の跡』松尾芭蕉
『五月雨の降り残してや光堂』

芭蕉が藤原三代及び兵士たちの魂を
慰め、平泉で詠んだ名句である。
元禄二年五月八日、四十六才の芭蕉
は曾良を連れ多賀城へ来た。壺の碑、
末の松山、沖の石、野田の玉川、おも
わくの橋、浮き島などを見て塩籠へ。

「奥の細道」の冒頭の文章は有名。
「月日は百代の過客にして、ゆきか
ふ年も又旅人也。後略」。百五十日、
二千四百キロの旅の制覇。三百年後も
なお我らの胸を打って止まず、感無量。
芭蕉は旅の紀行を五編に残し、「奥
の細道」が最後の作品となった。元禄
七年十月十六日「旅に病んで夢は枯野
をかけ廻る」を最後に五十一歳で逝去。
合掌し、一句捧げます。
『俳聖の辿りし道や田植え歌』

俳句

大代西 松浦 富男

独り居て郷愁誘う遠花火
喧噪の中静寂蟬しぐれ
長梅雨はボレ口旋律くり返し
紫陽花は濡れて色増し艶かさ
盆帰省賑わい戻る過疎の村

笠神地区 本郷 勝子

凌霄花風にあそばれ花の渦
駒草に足をとられし岩手山
仙翁花や火のいろ濃し夕かげり
ごくわづか月下美人の命かな
雲幾重百花繚乱栗駒山

九月開講教室

受講生募集

着物着付け教室

期間／九月十一日～二月までの木
曜日午後一時三十分～三時三十分
(全十二回)

対象／女性二十名

講師／大江ヒサ先生

費用／無料

親子手話教室

期間／九月十三・二十・二十七日
の土曜日午前十時～十一時三十分
(全3回)

対象／親子十六組(子供一人でも
可)

講師／三好一江先生

費用／無料

申込／大代地区公民館へ

☎36418442